

上海の黄浦江の遊覧船

事務局長 池田良穂

長崎県のクルーズ誘致のお手伝いで、中国のクルーズ会社を訪問する調査に同道するために上海にやってきました。日曜日の朝に関西空港をでて、昼前に上海の空港に到着し、外灘(バンド:かつての外国人租界地区)からの黄浦江の遊覧船に乗ることにしました。遊覧船には、1時間で周辺をまわる船と、黄浦江を下って長江まで行って戻る3時間のクルーズを行う船があり、後者は14時発もあるとのインターネット情報を得ていたのですが、外灘のチケット売り場に行くと、11時半発の便だけということでした。しかたがなく、1時間のクルーズに乗船しました。

外灘の遊覧船の乗場は、川を渡る渡船の乗場の少し上流にあり、10数隻の遊覧船が繋がれて、30分おきくらいに出港していきます。13時過ぎに着いたものの、チケットがとれたのは15時発の便でした。

荷物検査を受けて待合室に入り、しばらく待つと改札になりました。以下、1時間クルーズで出会った船たちのご紹介をします。



外灘の川辺の遊歩道は、いつも市民や観光客で溢れています。



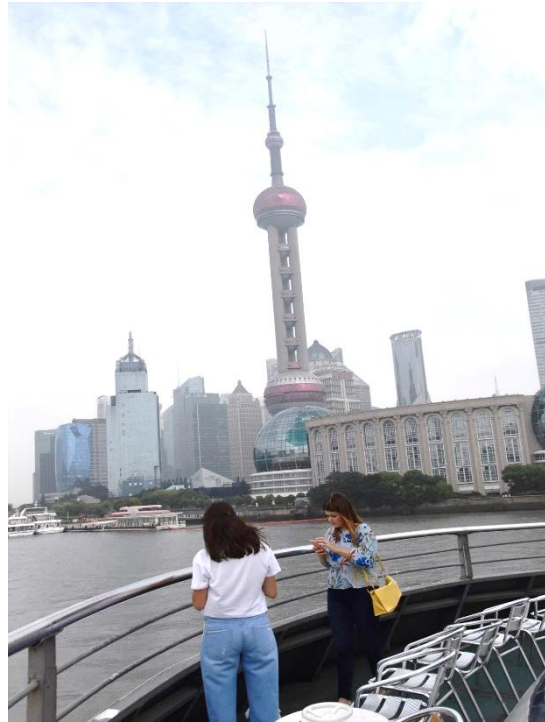
遊覧船の乗場には十数隻の遊覧船が出港を待っていました。



対岸にわたる渡し船のターミナルで、船も新しい船に衣替えしています。



筆者の乗船した遊覧船「振宇」です。料金は120元、邦貨で約2000円です。



外灘の対岸の浦東にたつテレビ塔です。



最上階デッキの船首側に特別室があり、さらに 70 元とられました。コーラかSprite付きでした。部屋のまわりに専用のデッキがあり、写真撮影には絶好でした。



客船ターミナルには大型の河川クルーズ客船「世紀天子」SHI JI TIAN ZI が停泊していました。



渡し船の 1 隻です。



国際フェリーターミナルには、日中航路の「蘇州号」が停泊していました。



団体用の遊覧船。



いろいろな遊覧船に出会いました。



いくつもある渡し船桟橋。渡し船にもいろいろなタイプがありました。

